

2015年度 環境活動レポート

対象期間 自：2015年4月 1日
至：2016年3月31日



発行日：2016/5/24
改定日：

ごあいさつ

株式会社アイムは、但馬北部を活動範囲とし、測量・設計業務を行う企業です。昭和51年の設立以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で35年を迎えました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境方針

当社は、地球環境保護のため、当社が行う測量・設計などの事業活動において生ずる環境負担に配慮し、環境経営システムを構築・運用し、全職員が一丸となり、環境保全に対し、自主的かつ積極的な取り組みを行います。

また、環境保全活動の一環として全社員に対し、環境保全の意識向上を啓発し、人と人、人と自然が調和する環境を作り続けます。

1. 二酸化炭素排出量（電力・ガソリン・灯油・液化石油ガス）の削減
2. 節水による水資源保護と使用量削減（総排水量の削減）
3. 事業所から出る廃棄物の削減（廃棄物排出量の削減）
4. グリーン購入の推進
5. 環境に配慮した測量・設計業務の実施
6. 本環境方針の全社員への周知と、環境保全活動の徹底
7. 環境関連の法規等や、その他環境に関する顧客の要求事項を遵守

制定日：2011/6/30

代表取締役 朝倉富征

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社アイム
代表取締役社長 朝倉 富征

(2) 所在地

本 社 〒667-1502 兵庫県美方郡香美町小代区城山68番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者・担当者 測量課 中村 好宏 TEL:0796-97-3161

(4) 事業内容

測量、設計、情報システム業務

(5) 事業の規模

年間売上高 114百万円(2015年度実績)

	本社
従業員	13名
延べ床面積	413㎡

(6) 事業年度 4月～翌年3月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社アイム

対象事業所： 本社

活動： 測量、設計、情報システム業務

□アクセス (オプション)



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2010年度 基準年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	32,697	29,854	29,870	33,642
電力	kWh	16,596	15,235	15,046	13,640
ガソリン	L	9,939	9,077	9,061	9,741
灯油	L	1,896	1,726	1,765	1,510
液化石油ガス	kg	6	2	4	7
廃棄物排出量					
一般廃棄物	トン	0.36	0.31	0.31	0.30
総排水量	m ³	54	58	85	84

※液化石油ガスは微量のため環境目標は設定しない

□環境目標及びその実績

(1) 目標

年		2015年度 基準年度	2016年度	2017年度	2018年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	33,642	33,306	32,969	32,633
			△1%	△2%	△3%
電力使用量削減	kWh	13,640	13,504	13,367	13,231
	kg-CO ₂ 対基準	7,243	7,171	7,098	7,026
ガソリン 使用量削減	L	9,741	9,644	9,546	9,449
	kg-CO ₂ 対基準	22,615	22,389	22,163	21,937
灯油 使用量削減	L	1,510	1,495	1,480	1,465
	kg-CO ₂ 対基準	3,763	3,725	3,688	3,650
液化石油ガス	kg	7	微量のため、環境目標を設定しない		
	kg-CO ₂ 対基準	21			
II. 廃棄物排出量	トン				
一般廃棄物 削減	トン 対基準	0.30	0.297	0.294	0.291
III. 水使用量 削減	m ³	84	83.2	82.3	81.5
	対基準		△1%	△2%	△3%
IV. グリーン購入	比率	0			
	対基準		+1%	+2%	+3%
V. 製品への環境 配慮	件	1	2	3	4
	対基準		+1件	+2件	+3件

- 注1) 二酸化炭素排出量の目標値に、液化石油ガスは微量のため含めず
 注2) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2014年度関西電力公表の
 0.531kg-CO₂/kWhを使用。
 注3) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数と基準年度は、5年毎に更新する。
 (次回は2019年度関西電力公表の排出係数を2020年度から適用)

(2) 運用期間の実績

年度 項目	年	運用期間における実績 (2015年4月～2016年3月)				
		2010年度	運用期間における実績		達成度	評価
		基準年度	目標	実績		
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	32,697	31,062	33,642	92%	×
	対基準		△5%	+3%		
電力使用量削減	kWh	16,596	15,766	13,640	116%	○
	kg-CO ₂	4,879	4,635	7,243		
ガソリン 使用量削減	L	9,939	9,442	9,741	97%	△
	kg-CO ₂	23,075	21,921	22,615		
灯油 使用量削減	L	1,896	1,801	1,510	119%	○
	kg-CO ₂	4,725	4,489	3,763		
II. 廃棄物排出量 一般廃棄物削減	トン	0.36	0.342	0.299	114%	○
	対基準		△5%	△17%		
III. 水使用量削減	m ³	54	51.3	84.0	61%	×
	対基準		△5%	+56%		
IV. グリーン購入	品目	3	8	0	0%	×
	対基準		+5品目	△3品目		
V. 製品への環境 配慮	件	0	5	1	20%	×
	対基準		+5件	+1件		

注) 評価欄にて、○：達成、△：やや未達成、×：未達成

注) 二酸化炭素排出量合計には、液化石油ガスの使用による二酸化炭素排出量も含まれています。

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
I. 二酸化炭素排出量の削減	○	（目標未達成） 下記参照
電力使用量の削減		（目標達成）
・空調温度の適正化 （冷房28℃暖房20℃）	○	クールビズ・ウォームビズの導入と、空調温度管理、サーキュレータ使用を徹底する事ができた。
・空調使用時期・時間管理	○	空調の使用時期・時間の管理を徹底できた。
・不要照明の消灯	○	不要照明の取り外しと必要箇所のみ点灯を徹底する。
・各種器具の更新	×	各機器の省エネ商品への買い替えを行う（検討） 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減		（目標未達成）
・エコドライブの実施	○	社員同士の指摘により安全運転を実行。
・運転者教育	○	乗合せやルート選定による使用台数・走行距離削減を行う
・冷暖房抑制	○	車内でも服装による体温調節を実行する。
・車輛更新	×	車輛のエコカーへの買い替えを行う。（検討） 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
灯油使用量の削減		（目標達成）
・ストーブの火力設定	○	ストーブの設定火力は最少で使用する。
・室温管理（20℃以下）	○	温度計を設置し、定期的な室温管理を心がける。
・隙間チェックの実施	○	暖房使用前にすき間チェックを行った。
・暖房使用時期・時間管理	○	空調の使用時期・時間の管理を徹底できた。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
II. 一般廃棄物の削減		（目標達成）
・ミスコピーの防止	○	電子化によるチェックの徹底を継続。
・裏紙の使用（再利用）	○	不要紙のメモ用紙利用の継続。
・印刷前チェック	△	印刷前にPC上にてチェックを行い印刷出来た。
・分別の徹底	○	ボックスにラベルで標記し、今後も分別の徹底を促す。
III. 水道水使用量の削減		（目標未達成）
・節水利用の徹底	○	節水の呼びかけ等、より徹底をはかる。
・洗濯・洗車日の設定	○	毎週金曜日を洗濯・洗車日とし出来るだけ多人数で実行。
・車輛洗車の節水	△	高圧洗浄機の利用による節水を実行
IV. グリーン購入の推進		（目標未達成）
・事務用品の購入対象品目調査	○	月々の購入物のリストアップを継続する。
・事務用品カタログチェック	○	グリーン商品への買い替え可能物を調査する。
・グリーン購入品目比率の向上	△	今後も一層積極的な取り組みを実施する。
V. 製品への環境配慮		（目標未達成）
・設計業務受注のための営業	△	業務を受注し、環境に配慮した提案を行う。
・顧客への環境配慮の提案	○	受注した業務で環境配慮を提案する。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される要求事項（施設・物質・事業活動等）	評価
測量法	公共測量作業規定、公共測量作業規定準則の遵守	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物の定期管理及び搬出	遵守
消防法	消火設備の定期点検 危険物保管場所の定期点検 警報装置の定期点検	遵守
フロン回収破壊法	フロン類の適切な処理 回収・破壊の工程の確認	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

節電、節水、節減、削減、節約など、その方面ばかりではなく、多方面から捉える事で、それに繋がる事もあると考える。それに気付くためにも普段から意識しておく必要がる。今後、削減から適正な維持管理も念頭に置き、活動を行う事。

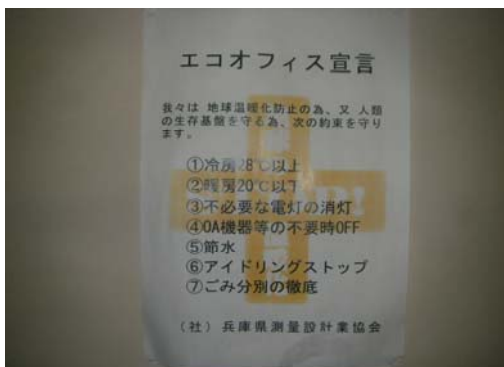
□環境活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<ごみの分別>



<エコオフィス宣言>



<地域清掃ボランティア>